
爽やかクラス計画

大吉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

爽やかクラス計画

【NZコード】

NZ687Z

【作者名】

大吉

【あらすじ】

座右の銘は品行方正、入学当初から常に学年首席だった楠木勝人は、一年に進級すると同時に校長先生からある計画を引き受ける。

爽やかクラス計画、

優等生ゆえに引き受けたその計画は、勝人の想像を絶する恐ろしいものだった。

これは、少年楠木勝人の悲劇の物語である。

プロローグ（前書き）

処女作です。
よろしくお願いします？

プロローグ

春休みの職員室前、一人の少年と校長先生がある話をしていた。少年の名前は楠木勝人、品行方正な優等生である。この私立洛陽学園を首席で入学し、一年生の間は成績がいつもトップだった。

「そんな優等生な君に頼みたい事がある」

「いつたいなんでしょうか?」

すると先生はある書類を楠木に渡した。

「詳しい事はこの書類に書いてあるが、とても重要な案件だ。とりあえず返事だけでも聞かせてもらえんかね?」

「ええ、もちろん引き受けさせていただきます」
優等生ゆえの返答。

だがこれがすべての悲劇の始まりだとは、少年はまだ知るよしもなかつた。

口リなパートナー

その日の帰り道、

「ちゅうっと、あ

なた、そこのあるなよ」

声がしたので振り返ると、誰もいない。ただの幻聴か?

「そのままの方を見なさい」

言われるまま下の方を見るとそこにはシマートカットの小さな女の子が立っていた。

「俺に何か用?」

「あなた、楠木勝人君でしょ?」

「まあ、そうだけど……」

こんな小学生にタメ口使われるのは非常に不愉快だが一応そう答えた。ていうか、なんか生意気だなこの子。

「まあ、そんな警戒しないでよ。私の名前は山川凜、あなたと同じ洛陽学園に通う高校生よ。四月から2年生になるわね。」

この姿からはあまりにも想像できなかつたので思わず、

「やつこつ歎を見たのかい？」

すると少女は俺の股間を思い切り蹴り上げた。

「え？」おつ？「

あまりに突然の事に思わず変な声がでる。

「あなたレディに対する口の聞き方がなってないわね」

「な、何すんだよ…？」

「あのね、本当に私高校生よ？次間違えたら、その股間蹴り潰すわよ」

「すいませんでした…」

あまりの恐ひしさにしつゝ謝ってしまひ自分がいた。

「それで、あなたに話したい事があつて来たのよ

「何？」

「あなたが引き受けた、計画についてね

「なんでそれを？」

あれは確か秘密事項だつたはずじやないか？

「そんなに驚かないでよ。私もその計画に参加するのよ、あなたのサポート役としてね」

「よろしくね、楠木君」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7687z/>

爽やかクラス計画

2011年12月27日19時47分発行